

2024年

12月号

ふれあいネットワーク



やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地



上陽地区の地域住民による 手づくりの福祉のつどいを開催!!



上陽地区福祉のつどい

笑っ亭一門による
落語寄席



健康測定コーナーでは明治安田
生命と八女市健康推進課による
ベジチェック・血管脈波測定・
血管年齢測定が行われました。



スカットボールの様子。
数種類のゲームを楽しみ
ながら体験しました。

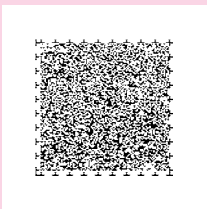


(株)リセスの健康運動
指導士による健康体操と
講話。会場の皆さんも
一緒に体を動かしました。



非常食の試食の後に
は八女消防署上陽分
署による防災講話が
ありました。

10月20日(日)、上陽地区多世代交
流イベント秋まつりと上陽地区
福祉のつどいが開催されました。
午前中はまちづくり協議会主催の
多世代交流事業が行われ、紙飛行機
を作って飛ばす等の昔遊びやスライ
ムづくり、ダーツ、ポッチャ等のニユー
スポーツを楽しみ、会場は子どもた
ちの笑い声であふれました。
午後は上陽地区福祉のつどい実行
委員会主催による、福祉のつどいが
開催されました。(株)リセスによる
健康体操と講話、笑っ亭一門による
「笑ってえ落語会」で会場は大盛況
でした。
お昼には非常食の試食や八女消防
署上陽分署による防災講話があり、
小学生にも防災について考えるきっ
かけづくりとなりました。
この他、ロビーでは各種団体の活
動紹介パネルや健康測定コーナーが
設けられ、血管脈波測定や血管年齢
測定、ベジチェックで自分の健康状
態を振り返るきっかけとなりました。
ライフスタイルの多様化や少子高
齢化もあり、イベントに人が集まり
にくいという課題もありますが、地
域の団体が協力し
合いながら一つの
ものを作っていく
ことの素晴らしさ
を感じた催しにな
りました。



●赤い羽根共同募金運動報告（八女市独自啓発事業）



共同募金イラスト・標語受賞者へ表彰状を贈呈

令和6年度赤い羽根共同募金運動の開始にともない、市内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、障がい者支援施設より、イラストと標語を合わせて1,333点応募をいただきました。共同募金会八女市支会では、審査会の決定により受賞された方々に対して、表彰状を贈呈しました。あわせて今年度より、独自事業にご協力いただいた学校及び障がい者支援施設の中から特別賞を選出し、福岡県立福島高等学校へ贈呈しました。

受賞作品は、八女市で作成したオリジナルカレンダー等の啓発資材に活用して、共同募金運動を推進しています。（※イラスト・標語については10月号に掲載しています。）

最 優 秀 賞



八女市立黒木小学校
5年生 椿原 唯 さん

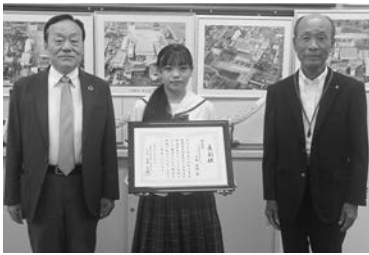
◀イラストの部



八女市立長峰小学校
3年生 民本 優衣 さん

◀標語の部

優 秀 賞



八女学院高等学校
2年生 小林 莉枝 さん

◀イラストの部



福岡県立福島高等学校
2年生 下川 小晴 さん

◀標語の部

特 別 賞



福岡県立福島高等学校



八女市立星野小学校
6年生 山口 凛 さん

▶イラストの部

八女市立星野小学校
5年生 上野 莉美 さん

◀標語の部

●地域活動報告(上妻校区まちづくり協議会)



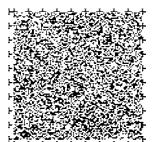
多世代交流で地域を華やかに
上妻校区花いっぱい運動

10月18日(金)、上妻校区まちづくり協議会の取り組みの「花いっぱい運動」が開催されました。当日は、上妻校区まちづくり協議会の皆さん、上妻校区民生委員児童委員、主任児童委員、上妻小5・6年生と教職員、保護者の皆さん、上妻校区内の福祉施設利用者と職員等が参加されました。

晴天にも恵まれ、児童の皆さんと地域の方々で和気あいあいと花の植え方を教わりながら、プランターにスミシの花を丁寧に植えていきました。

この取り組みを通して上妻校区では、地域住民のつながりづくりや地域への愛着、美しい地域づくりを推進されています。

社会福祉会館をはじめ、上妻校区内の公民館・福祉施設等へみんなで植えた花のプランターを置いてありますので、ぜひご覧ください。





黒木町社会福祉大会が開催されました

10月5日(土)に第33回黒木町社会福祉大会が開催されました。同大会は、誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざし開催されています。

基調講演ではNPO法人博多笑い塾の小ノ上マン太郎氏を招き、「笑って健康 アソビレーションのすすめ」と題し講演をしていただきました。笑いは心のストレスを解消させて免疫力を向上させる効果があり、笑うことで健康寿命が延びる特効薬であると話されました。

また、黒木中学校の生徒による赤い羽根共同募金の街頭募金や大会宣言、アトラクションのNEW CHILDREN'Sのダンスは若い世代の力強さを感じることが出来ました。

黒木町内の福祉施設の作品展示は利用者の皆さんが作られた作品等を展示しました。

チャリティ物品バザーには、市民の皆さまより多くの物品寄附をいただきました。収益金は、黒木町の福祉活動に活用されます。

黒木町社会福祉大会実行委員会では、今後も住民参加型の福祉のまちづくりを推進してまいります。



「笑って健康 アソビレーションのすすめ」
NPO法人博多笑い塾
小ノ上マン太郎氏



黒木中学校生徒による大会宣言



赤い羽根共同
募金活動



アトラクション
NEW
CHILDREN'S



多くの市民が来場されたチャリティ物品バザーの様子



黒木町内の
福祉施設作品
展示



行政区で住民の健康増進の取り組み!! 豊福行政区「健康講演会」

10月20日(日)、豊

福公民館にて「健康講演会」が開催されました。今回は講師に明治安田

生命の櫻井千香代氏をお招きして、「楽

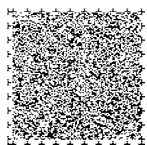
しく学ぶー認知症予防講座」が行われ、認知症の経済

的影響や有病率、中核症状と周辺症

状、MCI(軽度認知障害)、予防のための活動や意識等を分かりやすく教わりました。また、「頭(認知)と身体(運動)を同時に使う」ゲームや手のひらをセンサーにあてて推定野菜摂取量を見える化できる「ベジチェック」体験もあり、楽しく認知症や健康について学ばれました。



豊福行政区の「健康講演会」は今回で3年目。地域住民の高齢化の状況を考え、「住民の方々がいつまでも健康でこの地域で楽しく生活されてほしい」という想いから始められたそうです。この講演会で豊福行政区に健康意識が広まり、安心して健やかに暮らせる地域になっていかれることを八女市社会福祉協議会も応援しています。





「知る」ことで育む人生の先輩方への 尊敬の念 ～川崎小学校福祉出前講座～

6～10月に行われた川崎小学校4年生の総合学習「高齢者のことを知ろう」に八女市社会福祉協議会の福祉出前講座として参加しました。今回の学習では、車椅子体験や高齢者疑似体験セットの体験をはじめ、高齢者施設の「八女の里」見学と利用者との交流を行い、高齢者への配慮の部分の大切さを学びました。また、東公民館で開催される介護予防自主グループ「さくら会」に参加し、サロン支援ボランティア「サロンティア」指導の下、「コミュニケーション麻雀」での交流を行い、川崎校区の風物詩「山内花火大会」実行委員長の善正彰氏を講師に迎え、人生の先輩から学ぶという構成内容でした。やってみて、会ってみて、考えて、分からないことを質問する自ら学ぶ能動的な学習となりました。



(上)「すてき高齢者に会おう」の先生を善正彰氏に！
(下)「げんき高齢者に会おう」さくら会&サロンティアの皆さんとコミュニケーション麻雀で交流



▶電動車椅子体験



▶八女市教育の日で
活動発表



～広がれ地域福祉の輪～ みつとも保育園秋まつり

10月5日(土)、みつとも保育園にて秋まつりが開催されました。園児たちによるこども神輿や盆踊り、マルシエやゲームコーナー等が行われました。また、Y.A.M.E.シティプラスさんによるミニコンサートや日向ひよっこ踊りちっこ愛好会によるひよっこ踊りで大いに盛り上がりました。

八女市社会福祉協議会からは、社協事業紹介や赤い羽根共同募金コーナーを設けて事業周知を行いました。子ども頃から『募金』を体験することで、身近にある福祉に興味を持っていただくことを目的に、地域における行事にも積極的に参加させていただいています。



▲ガチャガチャによる
募金活動



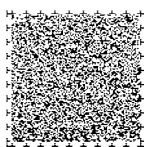
▲園児によるこども神輿

昔遊び体験をしました！

地元シニアクラブの皆さんにご協力をいただき、和ごま遊びをしました。初めて遊ぶ子どもたちがほとんど、ひもの巻き方から丁寧に教えていただきました。

勢いよく回るごまを、目をキラキラと輝かせて見ている子ども達と、嬉しそうに見守るシニアクラブの皆さんと、いっしょに楽しまれていました。

多世代交流を通じて、地域の子どもたちに昔遊びの楽しさを伝えるきっかけになりました。





矢部から黒木までふる里タクシーを利用してみました

矢部地区では市役所矢部支所より八女市内で一番近いスーパーやコンビニまで20キロ以上離れており、免許返納後の買い物や受診等、移動手段への将来的な不安が多く聞かれています。そのよ
うな中、矢部地区において、令和6年10月1日より令和7年3月31日までの予定で、ふる里タクシーの黒木地区への利用を可能にした実証運行が始まりました。そこで矢部地区の生活支援コーディネーターが実際にふる里タクシーを利用してみました。

黒木地区には他に利用する方がいなかったため、運転士さんに話を伺うことができました。「路線バスと違い、家から目的地まで行けるので買い物して大きい荷物になっても安心だから便利だと思っ
が、まだ知られていないのか、利用者はさほど多くない。」と話されていま
した。また、矢部地区内利用状況についても話を伺い、「令和3年から矢部地区でのふる里タクシー運行が2台体制となり、住民にとってはかなり利用しやすくなったのではない
か。同じ地区の方が乗り合って病院に行かれ、茶話会のように話
が盛り上がる事もある。」といった話を伺う事が出来ました。



▲12時32分 ゆいのもりを出発



▲道中は景色を眺めながら



▲13時05分 目的地のスーパーに到着



▲黒木まで運賃400円

道中は安全運転で快適に過ごすことができました。実際に往復利用すると、黒木地区での滞在時間が1時間半
くらいとなり、ゆっくり買い物ができたり、乗入の場所を変え、2カ所くらいで買い物もできそうだと感じました。
また、実際に利用された住民の方にもお話を伺いました。「黒木の整骨院に行くのに利用させてもらいました。13時過ぎに到着し、治療を受け終わるのが14時30分過ぎ、15時にタクシーが来たので待ち時間もあまりなく、今後利用していきたいですね。」初めてスーパーで買い物するのに使ったけど、玉ねぎや牛乳とか重い物を買って家の前まで送ってくれたから助かった。」との声を聞くことができました。
矢部村では、高齢化率が56%を超えており、買い物や受診における移動の問題や集落に住む人が減り孤立化するという課題があります。このような中、試行的に開始された、ふる里タクシーの黒木共通エリアへの乗入は社会資源の一つです。生活支援コーディネーターとして住民からの声を聞きながら住民と社会資源を繋ぎ、福祉課題の解決に向けて、今できる事を実践していきます。

時刻表

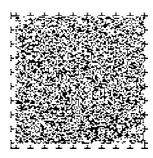
※平日のみの運行

矢部→黒木

12:30 までに電話予約 → 12:30頃 矢部エリア出発 → 13:30頃 黒木共通乗入エリア到着

黒木→矢部

13:30 までに電話予約 → 15:00頃 黒木共通乗入エリア出発 → 16:00頃 矢部エリア到着





フードバンクに寄附を頂いています

野田製菓様より黒棒、(株)プレシア様よりマドレーヌ、ドラッグストアコスモス納楚店様より食料品の寄附を定期的に頂いております。頂いた食品は、社会福祉協議会を通して、市内の子ども食堂や食の支援が必要な世帯の方々に提供させていただきます。



- 物品寄附** (10月1日から10月31日)
- ◇ J A ぶんくおか八女よらん野菜 野菜
 - ◇ ゆめタウン八女様 フードドライブ食料品
 - ◇ ドラッグストアコスモス納楚店様 食料品
 - ◇ (株)プレシア様 お菓子
 - ◇ 野田製菓様 お菓子
 - ◇ (匿名)個人)様 野菜・食料品・日用品



ほっと館やめ(上陽)より ~パンジーを植えました~

毎年、八女市環境衛生協議会上陽地区よりパンジーの花苗をいただきます。これは、同協議会が環境啓発事業として取り組まれている活動で、花種(コスモス)や花苗(パンジー)を自治会や団体に配布し、公共施設等の敷地に植栽することで、環境美化意識の向上とごみのポイ捨て防止を目的に行われています。

今年も作業体験として、デイサービスセンター上陽の利用者の皆さんと一緒にプランターにパンジー苗を植えました。元気なお祖母ちゃん、お祖父ちゃんと楽しくふれあい、可憐な花に癒されながら、充実した時間を過ごすことができました。

植栽後のプランターは八女市地域福祉センターの入り口に並べ、入館者や通行者に楽しんでいただいています。



▲一苗ずつ丁寧に植えました。

▲皆で楽しみながら植栽をする様子。

▲入り口が華やかになりました。

○ ほっと館やめから12月の行事のお知らせ (会場：共生の森)



料理教室

料理やおしゃべりで、ほっとするひと時を過ごしてみませんか？

- 日 時 12月17日(火)
12月24日(火)
10時～

(12/24は簡単にできる料理教室です)

- 参加費 無料
- 持参品 エプロン



笑福クラブ親の会 不登校・ひきこもり親(家族)の会

語り合うことで、心を軽くしませんか？

- 日 時 12月14日(土)
13時30分～
(※毎月第2土曜日)

●内 容 交流会・意見交換

●対象者 不登校や
ひきこもり
の方の家族



精神対話士による無料相談会

心配や悩みごとを相談してみませんか？

- 面談日 12月14日(土)
12月19日(木)
13時30分～
15時30分

(※毎月第2土曜日・第4木曜日)

精神対話士の都合により12月は第3木曜日に変更になっています。

※ 予約制となっております。

事前に下記の問い合わせ先までお電話ください。

(※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。)



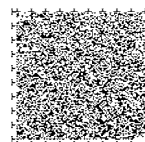
問い合わせ

ほっと館やめ

☎22-8315 携帯090-6893-5701
メールアドレス: hottokan@road.ocn.ne.jp

ほっと館やめ(上陽)

☎24-9820 携帯090-7457-4053
メールアドレス: hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp



※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。

そよかぜ健康と福祉のつどい

●日時 12月7日(土) 9時～12時

●会場 八女市星野総合保健福祉センター
「そよかぜ」多目的ホール **送迎あり**

●講演 大腸についてのはなし

●講師 くるめ病院医師による講演及び
理学療法士による健康体操

●その他

「星光園」の園児さんによる発表
八女市食生活改善推進会 星野支部

「健康を考えた食のレシピ」 **試食あり**
八女市より血管脈波測定※血管の若さの指標
「しなやかさ」と血管の健康状態をチェック。
皆さまのご来場をお待ちしております。

●問い合わせ 八女市社会福祉協議会星野支所
☎ 52-3165

「お助けサポート事業」「ごみ出し支援事業」のご紹介

●お助けサポート事業

ひとり暮らし高齢者や障がい者等の日常生活のちょっとした困りごとをボランティアがお手伝いする「助け合い」のしくみです。

【利用料】1回(1時間内)200円

↓詳しくはこちら



●ごみ出し支援事業(可燃ごみ)

日常生活の中で排出される家庭ごみを各行政区に設置されたステーションまで持って行くことが困難な世帯に対して『ごみ出しを支援する』しくみです。(八女市委託事業)

【利用料】 無料

↓詳しくはこちら



●「お助けサポート事業」「ごみ出し支援事業」のボランティアを募集しています。

住み慣れた場所でいつまでも暮らしていただける地域をみんなで作るしくみです。

「できることで」「ちょっとした空き時間で」ボランティア活動に関わっていただけませんか。気軽にできる活動です。



●問い合わせ 八女市社会福祉協議会本所
☎ 23-0294
(その他、各支所も対応しています)

地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

〔献血の基準(400ml献血の場合)〕

- 年齢：男性17～69歳 女性18～69歳
※65歳以上の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
- 体重：男女とも50kg以上
- ※最終的な献血の可否は、ご本人様の当日の体調等も勘案し、献血会場の健診医師が総合的に判断いたしますので、あらかじめご了承ください。

●日時：12月10日(火)
10時～11時30分/12時30分～15時30分
会場：八女市民会館 「おりなす八女」

献血は八女市健康ポイント対象事業となっています。献血にご協力いただいた方でポイントをご希望される場合は、八女市社会福祉協議会本所・各支所にてポイントの提供を行っています。

●問い合わせ：八女市献血推進協議会
(八女市社会福祉協議会館内)
☎ 23-0294



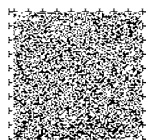
居住支援法人からのお知らせ

●居住支援学習会を開催します。

身寄りがなく、賃貸住宅の入居契約において、緊急連絡先を確保できないといった理由により、住まいに困っている方を支援されている関係機関を対象に「居住支援学習会」を開催します。興味のある方等、お気軽にご参加ください。

●日時：12月17日(火)
●時間：午前10時
●場所：八女市社会福祉協議会3階大会議室
(八女市本町599番地)

●問い合わせ：0943-24-8033
※ 事前にお問い合わせください。



八女市社会福祉協議会
公式LINEアカウント
友だち追加用QRコード



聞こえる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はFM八女[80.1MHz]を通じて放送します。



リサイクル適性(A) 環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

